

企画名：福島第一原発を初めとするハイリスク原発の空撮可視化プロジェクト

団体名：秋田放射能測定室『べぐれでねが』

1. 報告要旨

2024年5月に石川県志賀原発の空撮を実施、気象条件の問題や緊急時の着陸地点の確保の条件が難しかったため、有人での飛行による空撮ではなくドローンでの空撮を実施。直後に記者の方々へデータを配布し、空撮データをもとに構内の様子を解析したが、わかる範囲では特に大きな震災などによる影響は見られなかった。

同年10月には福島第一原発の空撮を実施。当日は直前の天気予報に反し強風のコンディションとなり、有人での飛行による空撮は中断し、ドローンによる空撮を実施した。直後に記者の方々へデータを配布し、空撮データをもとに構内の様子を解析したが、特に大きなインシデント等を発見することはできなかった。



2024年5月 志賀原子力発電所



2024年10月 福島第一原子力発電所

2. 成果物

1. 「[2024年5月上旬撮影、能登半島の被災地の現状を地上と空から伝えます](#)」(2024.6.9)
2. 「[2024年10月に撮影した福島第一原発の最新の空撮映像、志賀原発の空撮映像を公開しました](#)」(2025.2.1)